

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度②

■蒲生干潟周辺の塩分濃度の測定を行った。

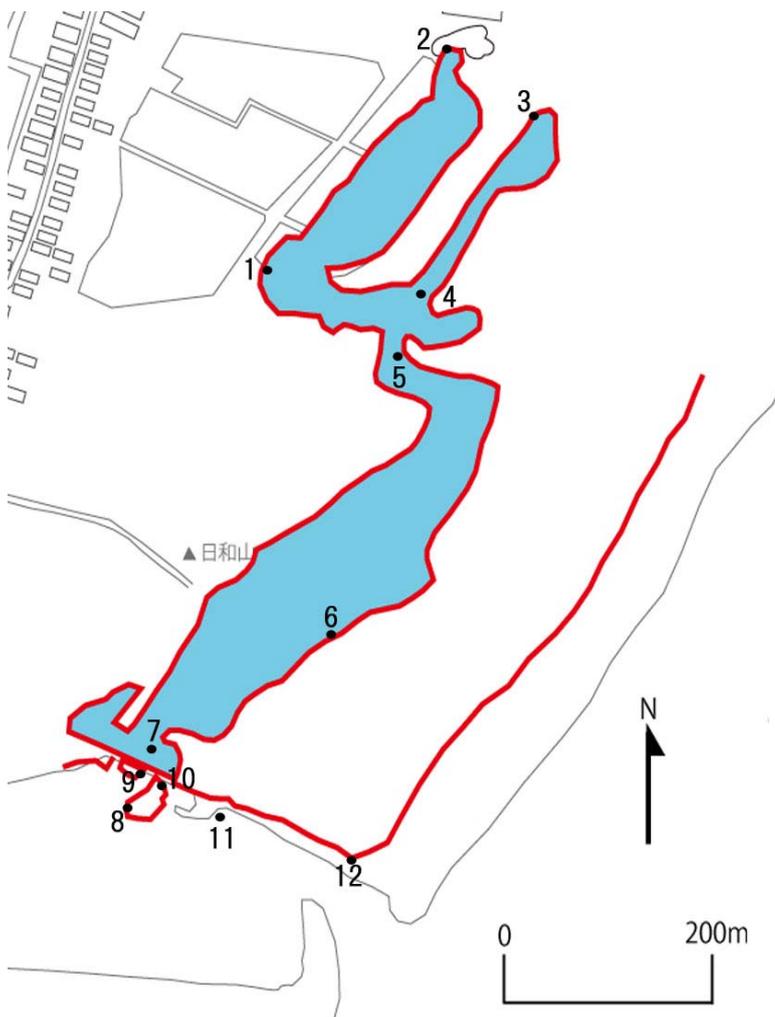


Fig.1 採集箇所 (赤線は、2016.2.9にトレースした線)

地点	塩分濃度(%)		
	1回目	2回目	平均
St.1	2.3	2.3	2.3
St.2	0.4	0.4	0.4
St.3	1.5	1.5	1.5
St.4	2.0	2.2	2.1
St.5	2.4	2.5	2.5
St.6	3.1	3.0	3.1
St.7	3.1	3.1	3.1
St.8	3.1	2.9	3.0
St.9	2.9	2.8	2.9
St.10_a	2.9	2.9	2.9
St.10_b	3.5	3.3	3.4
St.11	3.4	3.0	3.2
St.12	2.8	3.5	3.2

Table.1 各地点の塩分濃度 (採集は表層のみ)



Fig.2 St.10における採集箇所

蒲生調査レポートNo104の調査と同日同時間に、1月の調査に引き続き、蒲生干潟周辺の塩分濃度を測定した。採水は、前回同様、表層部からスポイトをもちいて行い、濃度の測定は、簡易海水濃度計 (アタゴ社製PAL-06S) を使用した。

採水地点は、Fig.1に示したとおり、12カ所について実施した。St.10については、蒲生調査レポートNo104に示したとおり、七北田川上流側から潟湖に入り込んでいる箇所 (Fig.2 St.10\_a) と河口側から入り込んでいる箇所 (Fig.2 St.10\_b) から採水をした。また、今回は、前回調査をしなかった潟湖北側奥 (Fig.1 St.1, St.2) について採水をした。特に、St.2については、Table.1に示したとおり、塩分濃度は、0.4%であり、ほぼ淡水であることがわかった。さらに、満潮時ということもあり、海水の影響を強く受けているためか、St.6・7は前回の値 (2.6%) より高い値 (3.1%) を示した。

(花田 義輝)